

第12章 令和5年度決算報告

1 概要

当院では、“患者本位の医療”“良質な医療”“行政サービスという自覚を持った医療”の提供という3つの理念の下、地域の基幹病院として医療体制の充実、医療及び看護水準の向上、地域の医療機関との病診連携の推進、そして施設設備及び高度医療機器の整備に努めてまいりました。

令和2年1月に国内での患者が報告された新型コロナウイルス感染症への対応も4年目となりましたが、令和5年5月8日には感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）での位置付けが「5類感染症」とされたことから、日常生活での制限が緩和されることとなりました。しかしながら、医療機関における新型コロナウイルスに対する対応はこれまでと同様な感染対策を実施し、感染症拡大を警戒しながらの病院運営となりました。

診療体制については、通常の診療を継続させると同時に、新型コロナウイルス感染症重点医療機関としての役割を担い、感染症対策病床の確保や富士医療圏域の陽性患者のメディカルチェックや入院治療の必要な患者の受入れ、発熱外来の設置、新型コロナウイルス感染症の後遺症患者の外来診療等を実施し、地域の基幹病院としての役割を果たしました。

この様な中、各診療科において積極的な患者の受け入れに取り組み、入院収益においては前年度よりも増益となり、長引く新型コロナウイルス感染症の流行や物価高騰等の影響がある中で、医業収支において前年度比で4,573万4千円改善されました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症に関連する補助金が減少したことにより純損失を計上する結果となりました。

施設設備については、患者満足度の向上を図るため、待ち時間の短縮やクレジット支払いに対応するため医療費の自動精算機を2台導入しました。また、令和3年度から令和7年度まで計画的に実施している照明器具LED化による本棟2階のLED化の実施、消火設備のスプリンクラー及び消火栓の更新を実施しました。医療機器については、全身用マルチスライスCT装置、超音波診断装置等の高度医療機器を更新し、最良な医療の提供ができる環境整備も実施しました。

この他、人材確保対策として、将来の看護師等の確保を目的とした修学資金貸与制度に基づき、本年度は新たに看護学生7人に対して修学資金を貸与しました。

入院は、年間延べ患者数92,029人（1日平均252人）で対前年度比2,356人増加、病床稼働率は66.1%で対前年度比1.5ポイント増加、平均在院日数は11.7日で対前年度比0.3日増加、患者1人1日当たり診療収入額は59,568円で対前年度比299円減少となりました。これにより入院収益は、対前年度比で1億1,355万9千円（2.1%）増加となりました。

外来は、年間延べ患者数129,086人（1日平均532人）で対前年度比8,709人減少、患者1人1日当たり診療収入額は26,325円で対前年度比919円増加となりました。これにより外来収益は、対前年度比で1億250万9千円（2.9%）減少となりました。

令和5年度決算は、3億4,361万9千円の純損失となり、これに過年度からの繰越欠損金46億877万8千円を加えた当年度未処理欠損金は49億5,239万7千円となりました。

2 収支状況

※参考 68頁 表「過去5年間の収益的収支の推移」等

(1) 事業収入

医業収益は、対前年度比0.1%（1,007万1千円）減少し、90億1,342万円となりました。また、医業外収益は、対前年度比19.8%（4億4,579万7千円）減少し、18億894万1千円となりました。病院事業収益全体では、対前年度比4.0%（4億5,618万5千円）減少し、108億2,428万6千円となりました。

(2) 事業費用

医業費用は、対前年度比0.5%（5,580万5千円）減少し、106億4,964万3千円となりました。また、医業外費用は、対前年度比0.9%（454万円）減少し、4億8,191万5千円となりました。病院事業費用全体では、対前年度比0.6%（6,821万5千円）減少し、111億6,790万5千円となりました。

3 資産等の取得状況

令和5年度中に取得した資産等（1件100万円以上）は、以下のとおりです。

(1) 改良工事 (単位 円)

名 称	金 額
2階照明器具LED化工事	28,160,000
消火栓設備更新工事	28,050,000
駐車場整備工事	8,239,000

(2) 医療器械器具 (単位 円)

名 称	金 額
全身用マルチスライスCT装置	77,495,000
低温プラズマガス滅菌装置	21,395,000
白内障手術装置	20,570,000
生体情報モニタ	17,050,000
超音波診断装置	15,169,000
セントラルモニター式	13,585,000
自動免疫染色装置	13,233,000
治療用電気手術器	9,504,000
電動リモートコントロールベッド(20台)	7,436,000
レーザーフレアーマーター	6,132,500
一包化錠剤仕分装置	5,995,000
CCU生体情報モニター式	2,750,000
分娩監視装置	2,640,000
産婦人科検診台	2,574,000
耳鼻咽喉科診療ユニット	2,354,000
保温庫・保冷库	2,288,000
2色LED光源装置	1,952,280
サポートアーム	1,874,488
簡易陰圧装置（2台）	1,694,000
放射線治療患者固定具	1,617,000
送信機（4台）	1,408,000
マイクローム	1,359,600
クリーンパーティション（6台）	1,247,400
スターナムソー	1,157,200

(3) 備品

(単位 円)

名 称	金 額
外部デバイス制御システム	9,988,000
非常放送設備	7,181,900
自動精算機（2台）	7,095,000
ネットワーク監視システム	4,349,950
財務会計・固定資産・予算編成システム	3,799,400
業務用冷凍冷蔵庫一式	1,958,000
リモート保守システム	1,436,050
デジタル複合機（3台）	1,316,700
投薬表示システム機器一式	1,089,000